

メンテナンスに携わる技術者のあるべき姿とは



富山市政策参与 植野芳彦氏



関東道路メンテナンスセンター 大西さん(左)日下さん(右)

「橋の技術基準策定から非破壊検査までを携わった専門家」として長年にわたり国内外で活躍されて、現在は富山市で政策参与を務められている植野芳彦様を関東道路メンテナンスセンターへお招きした時の若手との一問一答をお届けします。

地域の方々とのコミュニケーション

関東道路メンテナンスセンター 日下さん

「橋梁トリアージ」の生かせる橋を今後も長く生かすという思想は、重要かつわかりやすいと思う一方で、橋を見捨てるという考え方にもつながるのではないかと心配もあります。そこで、全ての橋を生かすのは極めて難しいことを地域の方々に説明しても、全ての方に理解してもらうことは難しいと考えます。植野講師が、地域の方々と接する際に最も大事していることを教えてもらえませんか。

状況に応じた検討をして、柔軟な対応を

地方自治体では、様々な面から管理する橋梁を減らすことも考えなければならない。橋を撤去することを説明すると反感を買うことが多くあるが、その一方で、将来のことを考えるとやむを得ないと理解してくれる人もいる。

例えば、橋を渡った先に民家が1軒ある場合に、その橋を修繕するのか、それとも民家に移転してもらうのか、住民に引っ越しをする計画があるのかなど、撤去・存続について、橋を利用する方の都合、周辺の状況、撤去後の迂回距離等も幅広く検討して、その検討結果を基に地域住民等の関係者へ丁寧な説明に努めることを大事にしている。

本気になって取り組める状況をつくる

今は、道路管理者が維持管理に本気になって向かい合ったとしても、本気になってできない状況もあり、極めて歯がゆい状況に置かれていると言える。

道路管理者だけで解決できない問題ではあるが、「技術者」として、周りを巻き込みながら解決に向かい、本気となれる状況を作り出すことに挑むのは大事なことである。

技術者とは

関東道路メンテナンスセンター 大西さん

わたしが以前に大変お世話になった上司から「技術者たれ」という言葉をもらいました。以降、ずっとこの言葉を自分なりの解釈で考えていますが、明確な解釈を得ることができていません。植野講師が考える「技術者たれ」の解釈を教えてくださいませんか。

技術者たれ

わたしも常に考えていることである。最初に「技術力」という言葉があり、わたしは「技術力」を「科学技術を駆使して課題、問題を解決できる能力」と解釈している。だから、自らの知識や経験と世の中にある知見、そういうものを複合して目の前の課題や問題を解決する力が「技術力」であり、「技術者」とはそういう力を持った人だと思う。

それを自ら一人で全てをこなすのは不可能であることから、自らの知識と経験と係わる人たちの協力を得て、様々なツールも駆使して、目の前にある課題に取り組み、それらを解決していく力が「技術力」であり、それが「技術者」の在るべき姿なのだと思う。



関東道路メンテナンスセンター http://www.ktr.mlit.go.jp/rd_mainte/

〒330-0843

埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1丁目89番地1 タカラビル2階

TEL 048-729-7780 / FAX 048-729-7790

道路のメンテナンスに係わる相談受付メールアドレス

ktr-road-mainte-center@nyb.mlit.go.jp 相談ごとはお気軽にお問い合わせください！

情報発信中！

Facebook <https://www.facebook.com/mlit.ktr.rd.mainte.center/>
Twitter https://twitter.com/mlit_ktr_mainte

事業概要

今も、そしてこれからも
道が道であるために



日本橋/国道1号/東京国道事務所



長野大橋/国道18号/長野国道事務所



旭高架橋/国道6号/常陸河川国道事務所



葛飾大橋(下り)/国道298号/首都国道事務所



月夜野大橋/国道17号/高崎河川国道事務所



水郷大橋/国道51号/千葉国道事務所

私たちの使命は この先**50**年後、**100**年後も 道路が道路として、 その機能を維持し続けること

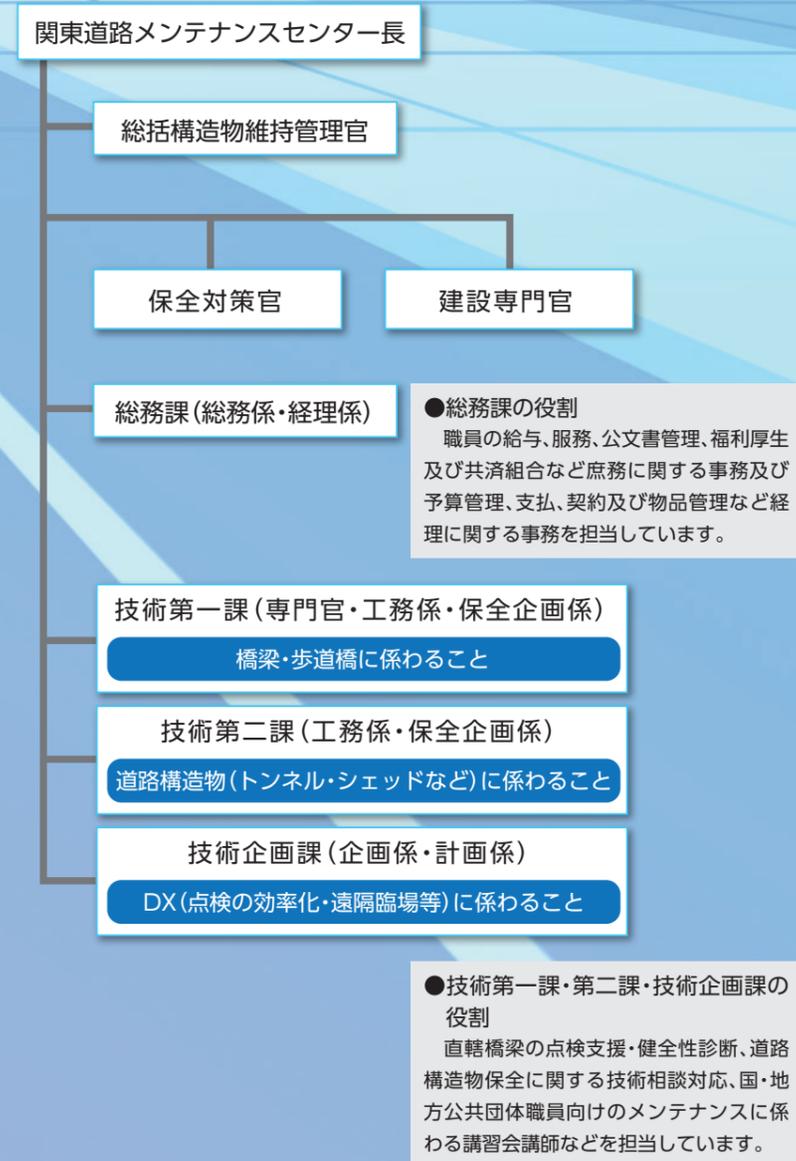
関東道路メンテナンスセンターの主な役割

- 急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、**点検データ**等を生かした、より**戦略的・効率的なメンテナンス**を推進
- 直轄国道における橋梁等の健全性の診断等を担当、そのほか、**蓄積されたメンテナンスデータ**の**管理・分析**による劣化予測や修繕計画の最適化、新技術の活用など**アセットマネジメント**による道路メンテナンスの高度化を推進
- 道路メンテナンスに係る地方公共団体支援**として、施設の健全性の診断・修繕の代行、高度な技術を要する道路構造物保全に関する相談への対応、地方公共団体の職員等を対象とした研修についても担当

関東道路メンテナンスセンターの主な業務

- 国道事務所が管理する橋梁等の健全性の診断
- アセットマネジメントの検討・導入**(メンテナンスデータの管理・分析等)
- メンテナンスに係わる**技術的な支援**
- 橋梁等のメンテナンスに係わる**技術研究開発**
- 地方公共団体が管理する道路構造物への直轄診断、修繕代行の支援
- 地方公共団体が管理する道路構造物の保全に係わる相談窓口
- 地方公共団体の職員等を対象とした研修・講習の講師

関東道路メンテナンスセンターの組織の構成



橋梁等のメンテナンスへの係わり



橋梁等の健全性の診断



橋梁等のメンテナンスに係わる研修講師



地方公共団体が管理する橋梁等の保全に係わる技術的支援



実施事例



直轄診断、修繕代行への支援



地方公共団体の職員等を対象とした研修・講習の講師



直轄診断、修繕代行への支援



各都県の道路メンテナンス会議への参画